

ワーキング・ウーマン
〒464-0092 名古屋市千種区
茶屋が坂 2-6-B-805
(052)842-2739(内藤)
留守番電話・FAX
http://www008.upp.so-net.ne.jp/w_woman/

♀W・Wニュースは隔月発行です
申込先 〒振替 00870-4-10024
ワーキング・ウーマン
年会費 2000円

ワーキング ウーマン



WORKING WOMAN
男女差別をなくす愛知連絡会

＝CONTENTS＝

◆予告:上映会「潮風の村から～ある女性医師の軌跡～」⇒P2

日時:2014年2月23日(日)13:30～

@名古屋市 市民活動推進センター

◆WW2014年年間計画のお知らせ⇒P2

◆報告:2013 年年末パーティ報告---P3～6

◆報告:「女性首長を実現する会あいち」1周年記念フォーラム---P6～7

◆報告:「あいち女性連携フォーラム」設立集会&講演会---P7

◆報告:「政治を考える市民の会」---P8～9

◆遺族年金の男女差別解消される---P9

◆高野史枝の女の映画評:「小さいうち」---P10～11

◆特定秘密保護法案が特定秘密保護法になった日 12月6日---P12～13

◆三井候補秋田追放事件を究明する裁判を支える会
---P13～14

◆ミニコミ資料室---P15

◆お出かけ情報・じょうほう:P16

◆記事情報



2月事務局会議は2月13日(木)15:15～ 東海ゼンター研究所

ドキュメンタリー「潮風の村から～ある女性医師の軌跡」上映と
監督トーク

2014年2月23日(日)13:30～15:00

参加費:500円

会場:名古屋市市民活動推進センター

〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目18-1

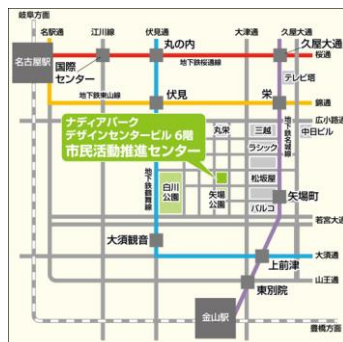
ナディアパークデザインセンタービル6階

TEL 052-228-8039

地下鉄「栄駅」7、8番出口より徒歩7分

地下鉄「矢場町駅」5、6番出口より徒歩5分

メール wws1986@hotmail.com か tel 052-812-2739(留守電)
でお申し込みください。



★2014年 ワーキング・ウーマン 年間活動計画

今年のWW年間計画が決定しました。2ヵ月毎の例会と夏合宿、年末パーティを行います。
また昨年少しお休みしていた、「フェミ祭り」も復活いたしますので、お楽しみに…

■4月20日(日) 例会 「女性が働き続けるために」(仮)

講師: ママスタートクラブ代表 榊原(矢上)清乃氏

会場: 東海ジェンダー研究所

時間: 13:30～16:30(予定) 詳細は3月会報に掲載いたします。

■5月 フェミ祭り

■6月 例会「TPPと原発、秘密保護法からみる日本の行方」(仮)

講師: 中部大学国際関係学部教授 羽後静子氏

■8月 恒例 夏合宿

■10月 例会「女性と政治を考える」(仮)

講師: NPO PROUD LIFE 代表理事 安間優希氏

■12月 年末パーティ

■2月 未定



WW 年末パーティ報告

昨年12月15日(日)恒例WW年末パーティが開催されました。今回の講演会は事務局の奥田祐子さんの体験に基づく「おひとりさまのガン闘病」。突然、膵臓ガン(末期)と告げられた彼女は、西洋医学だけでは助からないと即座に判断。以来、食事療法、抗がん剤服薬(点滴せず)、冷え取り(温灸含む)、超高濃度ビタミンC点滴、アンドルー・ワイル博士の呼吸法など5つを実践。結果、ガンは縮小し、なにより全く痛い思いもせず、抗がん剤の副作用も少なく、毎日元気に暮らしています。日本では今や2人に1人が“ガン”になるといいます。その“ガン”との闘いと付き合い方について、話をしていただきました。

当日の会場(東海ジェンダー研究所)は定員オーバーの状態、申し込みいただいたのに参加お断りをしなければならない状況になるかと思われるほど。また、講演時間も足りなくて、講演者および参加者にはご迷惑をおかけしましたが、実際にガンと闘っている(昔から、いろいろ闘っている奥田さんですが)リアルな話は文面ではなかなか表現しにくく、以下に当日のレジメを掲載しますので、ご覧ください。

おひとりさまのガン闘病記～強力女縁パワーに支えられて～

奥田 祐子



■1 自己紹介

1952.8月生まれ 61歳

2013.2月定年退職し無職 WW事務局 東海ジェンダー研究所評議員

■2 すい臓がん(すい体部ガン)と診断されるまで

11月 職場の健康診断で、血糖値が高い、受診するようにと指導される。

糖尿病専門クリニック受診、即座に糖尿病と診断され、即日薬を処方される。1週間後検査予定となる。その時、医師が「この急激な変化はガンかもしれないと小声でつぶやく。翌日、名古屋の主だった病院に電話し、ガンの検査の依頼をするが、検査結果を持参するよう言われる。

12月 検査の結果I型の糖尿病との確定診断が出る。

しかし、糖尿病では納得できず、しかもガンの検査がなかったので、「先生、私は、がんではないんですか？」と聞く。→ポイント①

それでは、検査をしようということで腹部エコーと血液検査をし、エコーの結果ガンではない、これ以上の検査は不要、糖尿病治療がんばりましょうと言われる。

12.26 医師から22時頃に電話があり、血液検査の結果、数値が高いので明朝一番に来院するようにと言われる。

12.27 医師から腫瘍マーカーが高い(CA19-9、700U/ml)のでCT検査をするよう勧められ、午後から他のクリニックの検査予約をとるが、クリニックを出て、そのままM病院に向かい、紹介状なく飛び込みで受診、即、緊急入院となる。→ポイント②

ト②

- 12.28 集中的に検査した結果、すい体部ガンでガンの中を大動脈が通っているため手術不能。門脈に浸潤し、肝臓転移の直前、と告げられる。(第4ステージ)
西洋医療では治らないと理解し、食事療法をやると決める。→ポイント③

■3 私の治療法～2013.1月開始～

★食事療法

済陽高穂医師の「今あるガンが消えていく食事」(マキノ出版)にそって料理する。

入院中(本年1月4日～退院の1月23日(12月配布資料1月17日を訂正)まで)、病院給食を辞退し、お弁当と野菜ジュースを毎日運んでもらう。食材を調達する、調理する、配達するなど、多くの方々の協力あり。→ポイント④

1月31日東京の済陽医師の食事指導を受け、現在も食事療法継続中。

基本は、野菜ジュースを中心とした有機野菜の大量摂取、四足動物肉・塩分・砂糖・アルコールの摂取禁止。食材はビオマルシェの宅配、ヘルシングあい、おさかな丸正

★抗がん剤

医師から手術も放射線治療も不可能と言われる。抗がん剤は治癒率30パーセント(手術した場合)、点滴か服薬かどちらがよいかと問われる。迷わず服薬を選択する。

TS-1を4週間毎日飲み、2週間休薬することを繰り返す。M病院隔週通院。

★超高濃度ビタミンC点滴

3月からKクリニックで週3回、75g(mgではありません)のビタミンC点滴開始。5月から統合医療を行う

希望クリニック(052-485-5717、名駅南1)に転院し、週2回75gの点滴を現在も継続。統合医療実施クリニックに出会えたこと(しかも徒歩30分)は、本当に幸運。

☆同クリニックで10月から理学療法士による腸マッサージも行う。理学療法士もガンサバイバー、自らのガンを腸マッサージと点滴で治癒させる。

★冷え取りと掌温灸

頭寒足熱(絹の靴下重ね履き)専門店 ラ・ハール(オズモール内 052-915-2061)
進藤義春医師の教えに基づく店

半身浴 温泉 掌温灸は掌のすい臓など7つのツボに行う

★アンドルー・ワイル博士の思想と呼吸法など

ナチュラル・メディシンの考え

人間には自然治癒力がある、その治癒システムの鍵を握るのは心である。

その心と治癒システムを結びつける方法として、たとえば「私には治る力がある」というような肯定的メッセージを睡眠に入るときに心で唱えると無意識の領域、治癒体系に伝えることができる。統合医療を提唱。これで余分なことを考えず就寝。

※「ナチュラル・メディシン」CDブック 春秋社

※「統合医療とは何か?がわかる本」ほんの木

ワイル博士の教え子9人の共著 うち女性が4人!

■4 現在の病状

すい臓ガンは2、5～3センチだったのが、1、5～2センチに縮小。門脈のガンは



固まっている。転移はない。

腫瘍マーカーは700から96まで下がるが、12月に216になる。油断大敵！

糖尿病に関しては、食事療法で栄養のあるものを摂らねばならず、そのため時々、血糖値が上がる(ガンが膵管をふさぎ、膵液が流れず膵管が膨張したことにより、インスリンの分泌も阻害され I 型糖尿病の症状になっている)。適宜、インスリン注射を打つ約1年間、抗がん剤の副作用もなく毎日元気に快適に暮らしてきた。が、10月末に突視力低下に襲われる。

Se眼科受診すると白内障と言われるが、あまりに急激に見えなくなったという1週間後に視野検査をすることになり、その結果角膜損傷で抗がん剤の副作用らしい、有効な治療はないと言われる。

転院を決め、杉田眼科受診。視力低下の原因とできる限りの治療を依頼する、1日で4時間の検査で抗ガン剤による副作用でマイボーム腺梗塞と診断され、できる限りの治療を受ける。

→ポイント⑤

現在、目薬とマッサージで治療中だが、角膜損傷の修復は難しく太陽とパソコンの光が辛い、新聞の字が読みづらい状況。(1月現在ほぼ元通りに治癒)

■5 ガンサバイバーの先輩たち～克服の仕方はさまざまだが、自分で決めることが大切

杉浦貴之 マラソンでガンを克服、そしてガン患者を率いてホノルルマラソンに参加

する、みなどんどん元気になる。「命はそんなにやわじゃない」かんき出版

寺山心一 自然治癒させる。ガンは自分が作った、だから作り方を知ってるでしょう？

それまでの生き方を変えないと治らない。「ガンが消えた」日本教文社

■6 ガンになって思うこと～環境、食べ物、ストレス～

★日本の食べ物や過酷な労働条件を改善しないとガンは減らない。

★ガンは克服できる病気、自分で治し方を決めるが、多くのサポートが必要。

★生き方を考えるチャンス、ゆったりと肯定的に生きることの大切さを学んだ(感謝)

普段が大事 「おひとりさまのガン闘病」を聞いて 『棲すみか』発行人 兼松春実

大変なできごと、「試練」と呼ばれるようなことが起こったときこそ、人は試される。20代の頃、(当時の私としては相当に大変な)試練にあった私は、おたおたして、泣き、叫び、なすすべがなかった。その点、今回「おひとりさまのガン闘病」と題して自らの体験を語ってくれた奥田祐子さんが試練に向き合った「態度」は、見事としか言いようがない。

糖尿病と診断されたときに感じた違和感を無視せず、自分の直感を信じて、すぐに別の病院を受診。診断が下りて入院が決まったときも、素早くSOSを発信し、あっという間に友人たちによる「お助けネットワーク」が結成される。

それもこれも、普段から奥田さんが冷静に「今なにをすべきかだけを考える」人だったから。ネットワークだって、ずっと前から信頼できる友人たちとしっかり結びついてきたから、たくさんの方が迅速に動いてくれたのだろう。トークの副題に「強力女縁パワーに支えられて」とあったのは、試練のときに発揮されたその力に、奥田さんが強く励まされたからに違いない。

もちろん、そんな奥田さんだって、果てしない不安にさいなまれる夜もあった。そんな事

実も、率直に語ってくださったことに、感動した。

一番心に残ったのは、普段が大事ということ。緊急のときになってから自分の態度を変えようとしても無理なのだ。

情報をしっかり取得しつつも、その情報に振り回されず、しっかり自分の頭で考える。主体的に動く。そんな態度を、普段から身に着けておかねば。

今回話を聞きにいったのは、20 年来の友人が同じ病を得て、手術したばかりだったから。その友人と共に、初めてワーキングウーマンの会に参加。

みんなで食べて、語って、歌って。ほんとに楽しかったー！

頼もしい仲間が一気にできたような気がして、冬のまちを、ほかほかした心で帰ったのでした。

奥田さんの講演を聞き、感動さめやらぬ間に今年もJFE AYAさんのケータリングでパーティがはじまりました。my箸、my皿持参の参加者たちは昨年以上の豪華な食事に舌鼓。その旺盛な食欲を満たした後は、恒例の1分間スピーチです。お題は「10年後に1番実現してほしいこと」。原発がなくなっていてほしい。というスピーチが一番多かったのではと思いました。そして、余興？アトラクション？日ごろのボイストレーニングとカラオケボックス特訓で培った、事務局の富田さん、三輪さん、奥田さんの天女のコーラスと、彼女たちの先生で、声楽家の野村伸江さんの素晴らしい歌声で、パーティは大いに盛り上がりました。

(内藤)



報告:

「女性首長を実現する会あいち」 発足1周年記念フォーラム開催

一年で参加者は倍に

2014年1月19日(日)、「女性首長を実現する会あいち」の発足1周年記念フォーラムが開催され、会に加わっているワーキングウーマンも参加しました。この日は会が発足した2013年の1月19日からピタリ1年目、昨年の参加者の倍の60名以上という参加者を集め、熱気にあふれた集まりの様子に、主催者も感激の面持ちでした。

中川市長の講演最高！

ゲストの元犬山市長の石田芳弘さんの応援挨拶後の基調講演は、兵庫県宝塚市市長の中川智子さん。ちょっと見は「親しみやすい大阪のおばちゃん」ながら、その話術は超・超一流。「名古屋は高齢者と障が

い者にやさしくないまちなえ」という出だしからぐっと聞き手の心を掴み、「活動の最初は『学校給食を考える会』から。でも、加わってくれたのはたった3人だったのよ〜」と笑わせ、そのあとはご自分の活動、衆議院議員になったいきさつ、会社設立、首長選挙と一瀉千里の「中川節」に巻き込まれ、参加者全員大笑いと感動の1時間を過ごしたのです。講演の中身の濃さは短い原稿では伝えきれませんが、「女性が首長になると、どこがどう違ってくるのかをちゃんと伝えないと」とか「女性の普通の発想が政治に反映するところ変わるのよ」などの事例(審議会の40%は女性、教育委員会を公募し36歳の女性に…ほか多数)をお聞きして、女性首長の必要性、重要性を改めて認識したのです。

女性議員のパネルディスカッションも盛り上がる

遅れて参加された谷岡郁子元参議院議

員の相変わらず歯切れのいいご挨拶で場がさらに盛り上がった後、かしわぐま光代県議会議員、井上恭子常滑市会議員、白井えり子日進市会議員、山盛さちえ豊明市会議員の5人に中川市長にも加わった『女性首長を実現するには』というテーマのパネルディスカッション。みなさん活発な議員活動を続けている方たちなので、その実際に即したお話は大変リアリティーがあり、聞きごたえがありました。特に、2009年に日進市の市長選挙に立ち、わずか62票差で敗れた白井えり子さんに、中川市長が「悔しかったでしょうねエ…」とお声をかけた時は、思わず胸にぐっと込み上げてくるものがありました。

何と4人の県議・市議が会に参加

会場には多くの県議、市議(遠くは新城市会議員まで!)が参加されていました。会ののち、その中で2人の県会議員と2人の市会議員が会員に。中でも、県会議員のお1人は、運営委員として参加をしてくださるようです。この結果を見て、「女性首長を実現する会」のような組織がいかに待たれていたかを実感し、一年後はさらに会員が倍々になって行くような活動をしたいと強く思いました。

なお、この会の様子は1月20日の中日新聞に写真入りで掲載されています。

(報告—高野)



報告 『あいち女性連携フォーラム』
設立集会 & 講演会

吉本明子副知事が7月に着任し、『あいち女性の活躍PT』が設置された。今回は「女性グループの相互交流や女性活躍に向けた機運醸成を図る」、という『あいち女性連携フォーラム』がたちあげられることになり、1月24日、設立集会に行ってきた。

ここに参加している団体は14で、愛知県が集めたというと、「No」と言わない女たち」になりがちだけど、今回はWW会員のかしわぐま県議のお勧めもあってWWも参加団体となった。ただし「女性首長を実現する会あいち」は直接政治に関わる組織だということで、参加拒否された。女性の活躍には政治的行動は必須だと思うんですがね。

さて、基調講演は元IBM役員(初)で、今は企業の女性活用を支援する会社を経営する内永ゆか子さん。男女平等を思想で求めるというより、経済合理性で女性登用の優位性を説く、いわゆる新自由主義の立場。しかし、IBMの女性活用についてはとても興味深い話で、きっちりやる気のある組織は違うと感心。女性活用のために具体的に実施された内容はとても参考になったので、資料欲しい方提供します。働く女性や企業経営者向けとして役に立つ話。でも参加者はちょっと層が違う感じだったのが残念。このフォーラム、交流と学習だけじゃなく、行動しなくてはね。(AKANE)

報告:「政治を考える市民の会」 について

この会の活動に、ワーキング・ウーマンも賛同しています。「女性首長を実現する会あいち」も賛同しています。

どういう団体かという点、「脱原発」と、「憲法改悪阻止」の二つの政策で共闘できる

政党・政治団体が連携し、2016年の二つの国政選挙で具体的な成果を得ることを目的とする市民団体です。民意を無視して、着々と原発再稼働、憲法改悪をもくろむ自民党一党支配の政治状況を、共闘関係を模索することで、切り崩していこうとするものです。具体的には、票の分散を防ぐため、選挙における候補者の一本化をはかり、上記2点を政策とする候補者を確実に当選させることを目的とします。

こうした趣旨のもと、当会の趣旨説明と、討論会への参加呼びかけを目的に民主、公明、共産、社民、新社会党、緑の党、緑の風などを訪問し、2回の「政党・政治団体と市民との討論会」を行ってきました。こうした席上、どの政党・政治団体も、統一候補にはやぶさかではない、話し合いによっては前向きに考えたいとの、姿勢が表明されました。

最近の動きとしては、都知事選挙にあたり、かなり幅広い政党・政治団体に同趣旨で候補者の一本化を図るよう要望する文書を送りました。

また、2月22日(土)の午後には、憲法問題に関しての賛同人間の意見交換を目的に“賛同人会議”を予定しています。場所は「熱田働く人の家」。午後1:30~4:30 賛同人は現在150名余です。

団体賛同している皆さんも参加資格あり、ですのでぜひご参加ください。

さらに3月23日(日)午後には、自民党も含めた全政党・政治団体を呼んで、憲法問題への見解を聞き、憲法問題を考える機会にすることにしました。

政党や議員によって、現行憲法への評価やスタンスはいろいろですが、市民がその違いを必ずしもよくわかっているわけではないため、これを機に理解を深めようという趣旨です。

場所は、名古屋YWCAビッグスペース。正確な時間は未定です。

チラシができれば、それをもって、再々度、政党訪問をします。この直接訪問は、政党と市民運動との信頼関係を築くうえで、大変有効であると感じます。

愛知での「政治を考える市民の会」的な発想を持つ団体は、関東・関西などにもあり、呼びかけ人の一人池住義憲さんが交流を図っています。

また、政党の動きとしても、あまりの自民一強の弊害への危機感から、これまでには見られなかった動きがあります。大阪府堺市長選挙では、自民よりさらに悪評高き維新候補を当選させないために現職の自民党候補を、与党・野党含めたほとんどの政党が推薦ないし支持をし、見事、再選を果たしました。

地元岐阜市長選挙でも、共産党が自民党候補を政策において合意できたとして、支持を決めました。こうした事が起こるのは、共産党が何年か前に打ち出した「一点共闘路線」によるところが大きいと私は思います。これがあるからこそ、愛知での共闘にも可能性が広がるというものです。

現在、国会では日本を「戦争ができる国」へと変貌させようとする勢力が多数を占めていますが、これは決して正確な民意を反映しているわけではありません。小選挙区制という選挙制度のなせる業で、得票数を大きく上回る当選者を第一党が出せる仕組みが、小選挙区制です。小選挙区制に対し、比例代表制であれば小政党であっても得票数に応じた当選者を出すことができ、実態に即した民意を政治に反映させることができます。「政治を考える市民の会」はこうした選挙制度についての学習会も予定しています。

私たちも、選挙や政治に関心を向け、どうしたら政治を動かせるか、男女平等を実現していく政党はどこか、と考え、投票行動につなげていく必要がある、と思います。(岡田記)

遺族年金の男女差別解消される！

「扶養の夫・妻死亡も支給」という下記掲載の新聞記事を読んだとき、私は何とも言えない感慨を覚えた。

今から20年くらい前、私はWWニュースでこのことにふれた。

それは、会員だった鈴木敏子さんが亡くなり、彼女が扶養家族にしていた夫と子供に遺族年金が支給されないと知ったときのことだった。記憶しておられる方も多いと思うが、彼女は名フィルの楽団員で、当時女性では稀なチェリストだった。夫はフリーのチェリストだったので、彼女が父子を扶養家族にしていたのである。

しかし、彼女は若くしてすい臓がんにかかった。亡くなる直前に見舞ったとき、私に「遺族年金が出ないから心配」と言ったのだが、そんなことありえないと思っていた私は、「大丈夫、心配することはない」と答え

たのだった。しかし、彼女が正しかった。掛け金を払っているのに、妻が扶養していた父子には遺族年金は支払われないのだ。法改正をすべきだと思った。記事を読んで会員のKさんが一緒にやりたいと言ってくれたが、私は結局なにもせぬまま今日に至った。

自分がすい臓がんにかかったとき、真っ先に鈴木敏子さんのことを思い出した。その直後に夫の吉田顕さんの演奏会があることを偶然知り、聞きに行った。そして、この記事。

どんでんがえしのいきさつで改正になったが、社会保険労務士の団体などの努力でこんなひどい不平等がやっと解消された。敏子さん、やっと、、、ごめんね。(O)

『小さいうち』—情報隠しは命さえも奪う—

高野史枝

日本の向かう先は大丈夫？

「昨夜、大勢の人達と一緒に秘密保護法案反対のためのテロに行った。いや、行ったのはテロではなくてデモだった。なぜ私がこんな言い間違いをしたかという、人相の悪い翼賛政治体制政党の大臣が『大声で叫ぶデモはテロと同じだ』と、デモ隊を非難したという話を旦那さまからお聞きしたからだ。奥様は『タキちゃん、その間違いはちょっとひどくなくて？』とお笑いになった。」

…と、中島京子著の直木賞小説「小さいうち」に出てくる「女中のノート」をちょっと真似し、タキちゃんになって書いてみた。物書きのハシクレとして「秘密保護法なんて悪法ができたら大変だ」と思ってデモに行ったんだけど、「法案を阻止するぞ〜」「法案を許さないぞ〜」（「デモはテロじゃないぞ〜」というのもあった。）というシュプレヒコールもむなしく、特定秘密保護法案は成立してしまった。私の気分は奥様にひどく叱られた女中と同じ。シュンとして落ち込んで先行きに不安がいっぱい。ちょうど映画化された「小さいうち」（2013／山田洋次監督）を観たところなので、「国が自分たちのやってることを隠し始め、それがエスカレートすると国民はみんなひどい目に合う。いや、知らないまま死に追いやられちゃうことだってあるよ」と、実感するから。山田監督ご本人が「果たして今の日本がどこへ向かっていくのか、というようなことも見えてくる作品にしたい。」（byパンフ）と語っているのも暗示的じゃないの、って、年の初め早々不景気な話をしてごめんなさい。特定秘密保護法案成立ダメージが、じわじわジワジワとボディに効いてきてるものですから。

女中は何でも知っている

現代。大学生の健史（妻夫木聡）は、亡くなった大叔母タキ（倍賞千恵子）が残したノート書きの自叙伝を手にとる。そこにあったのは昭和の日本で女中奉公をした若き日のタキの姿だった。健史は一人暮らしのタキを訪ねるたびノートを読み、もっと書くように勧めていた時のことを回想する。

昭和初期、東京郊外にある赤い三角屋根のモダンな家に、山形出身の女中、タキ（黒木華）が奉公に来る。平井家は玩具会社重役の雅樹（片岡孝太郎）、その妻時子（松たか子）、幼い一人息子の恭一の3人家族。若くて美しくお洒落な時子は女中にも気さくな優しい態度で接し、タキは時子に強い憧れを抱く。雅樹の部下、板倉正治（吉岡秀隆）が家に入出入りするようになってから、時子の様子は微妙に変わって行った。それを見つめるタキ。日本は徐々に戦争の色を濃くし、昭和16年12月にはとうとうアメリカとの戦争が始まった。しかし平井家はまだまだノンキな日常を送っていた。板倉も出征することになった。最後に時子は板倉に逢いに行こうとする。止めるべきか、手助けすべきか…すべてを見ていた賢いタキは激しく迷い、ある決断をする。

現代。社会人になった健史はある日、昭和の人気漫画家、イタクラ・ショージが「小さいお

うち」に出入りしていた板倉だと知る。不思議な糸に導かれるように健史は存命していた時子の息子、恭一に会いに行く。そこで明らかになったのは、タキが隠し通そうとしたある真実だった…。

山田洋次監督は、この所「おとうと」(2010)「東京家族」(2013)などの名作リメイクを何本かやらされてる。やらされてる…なんて、まことに失礼な言いぐさなんだけれど、どちらの作品も、人情ものにムリムリ現代社会批判が接ぎ木されているような納まりの悪い作品になって残念だった。今回の作品はリメイク縛りなしで自由にノビノビ撮っているのが、山田洋次監督好みのモダン(ちょっとレトロ)、賢い女性、権力への批判などがうまくミックスされていてもたれず、見ごたえがあってよかった。原作は小説の楽しみがぎっしり詰まっている傑作だし、脚本も音楽も、「小さなうち」を再現した美術スタッフもいい仕事してます。何より二人のヒロイン、松たか子と黒木華がまんま昭和顔なので、原作イメージが壊れてない。

情報隠しの恐ろしさ

本を読んでも映画を観ても、第2次世界大戦前の日本政府は、国民に対してほとんど現実の戦況を伝えていないことがわかる。中国との戦争が続いていても、それは小競り合い程度にしか報道されないのが、時子の夫は「なあに、来年にでも片づくだろう」と楽観するばかり。昭和16年に対米戦争が始まっても景気のいい戦勝しか伝えないから、国民はそれを信じて疑わない。賢くて気が付きなんでもよく理解する女中のタキだって「南の島の人は踊りを踊って日本の軍人を歓迎しているらしい」(そういえば大昔、「私のラバさん曾長の娘〜」という歌を聞いたことがある。コワ!)という話をその頃のノートに書いていて、それを読んだ健史は「なんだそれは。能天気すぎる」と怒り、「もっと本当のことを書きなよ」と説教している。「あのころは、みんなそう思っていたのだから仕方ない」と言うタキ。これはタキがいう通りだ。昭和17年のミッドウエー海戦で日本はボロ負けに負けているのだけれど、その頃の新聞には「敵の戦艦をぼこぼこ撃沈して日本は大勝利」と書かれていたのだから、誰だってそっちを信用するだろう。昭和17年4月に東京が初空襲された時も、「敵の9機はすべて撃墜」と発表されている。平井家の旦那様は「アメリカ人もなかなかやるとほめてやってもいいぐらいだ。心配するには及ばない」と鷹揚そのもの。昭和20年、レイテ沖海戦で日本海軍は壊滅的な打撃を受け、神風特攻隊は出撃し、沖縄で悲惨そのものの闘いが続いているが、報道がなされなければ、国民にとってはそんな話にリアリティーの持てるはずがない。結果としてこのご主人と妻の時子は防空壕へ避難したまま焼け死んでしまった。爆撃を受けながらもご主人は、「なあに、心配するには及ばない」と言っていたのかもね。もし日本政府が「日本は東京をはじめ、都市という都市は爆撃されているので、出来るだけ田舎へ避難しなさい。防空壕は役に立たず、焼死の可能性が高いです。」という正確な情報を伝えていたら、この二人は生き残れたかもしれない。戦前のモダンな「小さいうち」で繰り広げられる「小さな秘密」を描いた一見「かわいい」映画なのに、実は「情報隠しは人の命さえも奪うもの」だという事がつくづくわかる「コワイ」映画でもありました。



東京都知事選の期間中映画『100,000年後の安全』がYouTubeで無料公開されています

無料配信 日本語吹き替え版 『100,000年後の安全』

東京都知事選の争点となる“脱原発”…イデオロギーを超えて原子力発電所を考える。

<http://www.uplink.co.jp/100000/2014/> 配給元 アップリンク

投稿:

特定秘密保護法案 が 特定秘密保護法 になった日・・12月6日

この日、愛知でも大規模集会・デモが設定された。配ったチラシは4万枚。何日も何日も名駅前で、栄で、金山で、と1枚1枚手渡しで配られた。私も1日だけこのチラシ配りに参加した。名駅前は、栄より、金山より、受け取りの悪い場所というのが定評であるが、その割には、取ってくれる人の数はいつもより多かったと思う。「悪法です。弁護士も反対しています。」と簡単な言葉をかけながら手渡す。

さて、当日は、3000人の目標を大きく上回り、何と4000人が集結。皆さん、危機意識が高まったようだ。前回のデモの反省点が生かされ、適当な間隔を空けて、待機していた10台ほどのスピーカー搭載車がデモ隊に割って入り、間隔をとりながらデモ隊はスムーズに出発した。けれど、あまりの人の多さに、最後列が公園を出たのは、先頭が出発してから40分後であったそうだ。

ワーキング・ウーマンからも数名が参加。白井えり子日進市議は、演説車の上から日進市議会がこの法案に反対決議をしたことをアピール。谷岡くに子さんは、前回の「元参議院議員」から「至学館大学学長」に代わって登場。「われわれは、民主主義を守ることをあきらめない！」と力強く檄を飛ばす。愛知・日本軍「慰安婦」問題解決をすすめる会の水野さんも登壇。「女性は戦争が嫌いです。今日もたくさんの方が来ています。」と、女性目線で発言。野々垣真美さんは、サンタクロース衣装に身を包み、自らが広告塔となって道行く人をどんどんデモ隊に引きずり込んでいた。神永れい子さんも、背中にクッションまで入れて、パン

ダになりきり、腹は自前です。皆、力強く声をあげ、一所懸命に歩きました。

しかし、法案は国会を通過してしまった！これだけ多くの団体が反対声明を出し、パブコメで、デモで、世論調査で、多くの国民が反対を表明しているにもかかわらず。

以下、海渡 雄一弁護士の「今後の活動提起」をぜひ、お読みください。こころが軽くなります。

■1 参議院で法案採決される

参議院本会議で、法案が可決されました。

採決結果は、投票総数212、賛成130、反対82でした。賛成したのは自民党と公明党。反対したのは、民主、共産、社民、生活、糸数議員、山本議員などでした。みんなの党は欠席しましたが、一部議員は出席して反対しました(川田さんと寺田さんと真山さん)。維新の会は欠席しました。

市民の8割が慎重審議を望んでいる中で、日比谷野音に1万5千人が集まり、全国で抗議集会が続ぎ、数万人の市民が国会を取り巻き、秘密保護法絶対廃案を叫び続ける中での、法案可決です。

委員会採決は、最後は、全く言葉も聞き取れない、議事録もないような状態で採決であり、手続的にも違法無効です。

■2 根本的欠陥法案である

この法案には根本的な欠陥があります。何が秘密に指定されるかが限定されず、政府の違法行為を秘密に指定してはならないことも明記されていません。公務員だけでなく、ジャーナリスト・市民も独立教唆・共謀の段階から処罰されます。政府の違法行為を暴いた内部告発者やジャーナリスト、市民活動家を守る仕組みが含まれていません。権威ある国際原則であるツワネ原則にことごとく反しているばかりでなく、ふたりの国連特別報告者とピレー人権高等弁務官からも重大な懸念が表明されています。私たちはこの秘密保護法案の内

容も手続も絶対に認めることはできません。
■3 法案廃止の活動を始めよう これからの闘いの方向性について、提起したいと思います。今晚の闘いの力で、これからの政府の暴走を止めましょう。成立した法案は同じ手続で廃止することができます。私たちは、明日から、この法律の廃止を求める活動を直ちに始めようではありませんか。次の国会には、採決に賛成しなかった多くの政党と共同して、秘密法の廃止法案を提案するための活動を始めましょう。

■4 弾圧に備えよう

もうひとつ、大切なことを提起します。この法律は、憲法21条、自由権規約19条で保障された表現の自由を侵害する違憲立法です。この法律が自由権規約19条に違反することは、国連の見解なのです。我々には国際社会が味方してくれています。裁判官も私たちの反対運動を見ていることでしょう。そして、心の内では応援してくれている裁判官も少なくないはずです。秘密法違反の被告人は違憲な法律によって起訴されたのですから、絶対無罪としなければなりません。これは、弁護士の仕事ですが、政府があくまで、この法案を施行しようとするなら、第一号の秘密法違反事件の被告人を弁護するために、1000人の弁護士を組織し、あらかじめ大弁護団を結成しておきたいと思えます。

■5 新しい闘いのはじまり

法案の成立は、私たちの一つの敗北であることは確かです。

しかし、今日一日の私たちの行動は、政府、国会に私たちの秘密法廃案、安倍政権NOの怒りをぶつけ、一人一人の市民に秘密法反対の意思を確認する機会となったことと思います。

まず、私たちは、これだけの多数の市民の反対を押し切って秘密法を成立させた政府与党の暴挙を心にしっかりと刻みつけなければなりません。マクベスのバーナ

ム・森は動いたのです。これから、政権崩壊の日が近いことにおびえなければならないのは、勝ち誇ったような顔をしている安倍首相とその取り巻きたちです。

私たちは、この法律が廃止されるまで、決してあきらめません。明日から秘密法のある社会を拒否し、その実質化を食い止めるため、新たな闘いを始めましょう。

(岡田記)

投稿:『三井候補秋田追放事件を究明する裁判』を支える会
愛称 さみどりの会

「産むならば 世界を産めよ ものの芽の燃え立つ森の さみどりのなか」

三井さんが好きだという、ジェンダー視線で短歌を作る歌人 阿木津 英(あきつえい)さんの作品からとった“さみどり”をシンボルカラーに、一昨年の衆議院選挙を闘った三井マリ子さんです。「女性は子どもを産むだけではない、世界を生み出すのだ、という意味です。私は、新しい秋田を生み出したい、のです。最期の最後まで、がんばります！」選挙期間中の演説の最後を、しばしばこのような言葉で結んでいた三井さんでした。

ところがびっくり！！選挙が終わった途端、地元受け入れ組織であった松浦大悟参議院議員(当時)の事務所関係者5名が、突然、ひと気の去った三井宅を訪れ、「即刻秋田を去るように」「以後の連絡はとるな」「この契約は12月まで」「落選したら第3総支部は即なくなる」「あなたがいると票が減る」などなど、嘘を並べ立て、人格攻撃を行って、三井さんを恐怖に陥れてまで秋田を追放したのは、なぜか？

住民票を秋田に移し、落選後も秋田で活動していくことをマスコミにも公言していた三井さんでした。であるから、追放には

強行な手段が必要であった、と捉えています。

この疑問を解き明かす過程で、選挙資金の使途不明や、隠し口座の存在(→有印私文書偽造で2013年5月に秋田県警に刑事告発)、追い出し理由のウソ八百などなど、多くの事がわかってきました。

秋田魁(さきがけ)新聞の報道によると、刑事告発の捜査上で発覚した「収支報告者への不実記載」の当該者の「書類送検」が決まったとか。次は検察の手にゆだねられることとなります。告発内容については、現時点では、まだ警察の捜査段階です。

こちらの、民事訴訟では、三井候補の秋田追放が一連の選挙資金の流用(=松浦大悟側への取り込み)の事実気付かせないための方策であり、であるからこそ、落選直後の早期追放が必要であった、と主張します。

また、選挙資金=政党交付金=国民の税金の、不法、不当な使われ方に対し、問題提起ができれば、と考えています。

思えば、ちょうど1年前、2013年の1月発行の当会報に、「三井マリ子衆議院選出馬助っ人奮闘記」を書いた岡田でした。まだ選挙直後のあの頃、書くに書けない未消化な事柄を多く抱えたまま、差し障りのないことだけを書きました。ようやく今からその実態解明が始まります。当事者である三井さんと、弁護士、我々支える会のメンバーはほぼ、「この事態をどうとらえるか」、の作業を終え、次は、捉えたものを第三者(裁判官ほか)にどう理解してもらうか、の段階に入ります。用意した90点以上の証拠を使ってそれを裁判という場で明らかにしていきます。岡田は選挙応援に引き続き、この裁判を支える会(愛称 さみどりの会)事務局のひとりとして、これからは裁判を支え、三井さんとともに実態解明に努めていきます。

下記は、主に秋田の支持者に送った裁判開廷のお知らせハガキの文面です。皆さまの関心が、パワーとなってこの裁判を勝利へと導いてくれるものと思います。

長くかかるであろうこの裁判を見守っていただけたなら、幸いです。

最後に、男性に対して同じことは決してなされなかったであろう、というのが、この裁判を応援する者の、共通した認識です。(岡田記)

秋田地裁の傍聴を！ 2014.1.24

2012年暮、三井マリ子さんは秋田3区から民主党公認で衆院選に立候補しました。民主党松浦大悟参議院議員らの「全身全霊でお支えます」との懇願にほだされて、一大決心をしたのでした。故郷秋田に平等と福祉を根づかせようと、横手に移住しました。

ところが落選して5日目、松浦議員らの態度は豹変しました。三井さんをツルシアゲたあげく秋田から追放しました。

しかし三井さんは挫けませんでした。選挙に使われるはずの資金が、不明朗に使われたり、使途不明になっていることを突き止めました。隠し口座も見つけました。

三井さんは、松浦氏秘書を警察署に刑事告発をする一方で、松浦氏らを相手に民事訴訟を起こしました。

「第1回裁判」では三井さんが陳述します。「裁判説明会」では近江直人弁護士など弁護士3人がお話します。

三井さんの選挙資金の多くは政党交付金でした。これは国民一人あたり250円を拠出した税金です。裁判は、世界最高額といわれる政党交付金のとんでもない使われ方を暴く絶好の機会です。ぜひご参加ください。

●第1回裁判: 2014年1月24日(金)
午後2時

秋田地裁本庁(秋田市山王7-7-1)

●裁判説明会: 1月24日(金)裁判が終わり次第ラポールみずほ(地裁から徒歩5分)

三井候補秋田追放事件を究明する裁判を支える会(愛称 さみどりの会)

連絡先 399-0211 富士見町富士見3131-1 三井方
さみどりの会 (事務局: 岡田ふさこ、岡橋ときこ)
TEL:080-6957-1951

資料室

ご意見・資料のコピー請求は下記（川澄）までどうぞ。

t e l、 f a x : 0 5 2 - 6 8 1 - 6 7 2 7

mail : n e n n _ n e @ m 5 . d i o n . n e . j p

それゆけ女たち

セクシャルハラスメントと闘う労働組合ばあぶる

No. 229、230

・『日本の「労働」はなぜ違法がまかり通るのか?』今野晴貴/著（星海社新書）を読む・・・日本の労働組合が、企業別であること、労働者の技術を企業が育ててきたこと、などが、今までの長期雇用と年功賃金を生んだ。それが、今崩れて、過酷な労働環境だけがこのった。労働契約に基づく権利をかंगाえていくべき。

・とほほの役立たず日記 その25

・はあぶるレポート11月号 『そして父になる』の楽しみ方・・・小学1年まで育てたわが子が、じつは産院でとちがえられていた、という事実で2組の親子が、どう向き合うか、の映画。どうなったかはわからないまま、映画は終わるそうだ。

・「戦後」という物語の根源の見直しを！・・・「永続敗戦論～戦後日本の核心」白井聡/著（大田出版）と「戦後史の正体」孫崎亨/著（創元社）の2冊をもとに、戦後史をみなおしてみた。

Voice of women

no. 346, 347 女性学研究会ニュース

・「女性学年報 34号」1900円 が刊行されます。ぜひ、手にとってご覧を。

・美を気にする社会をサバイブ・・・iphoneアプリでカロリー計算してくれるやつをダウンロード。ゲーム感覚ではまる。めがねをコンタクトにかえ、自分の身体が自分でコントロールできる可能性に気づいて自信がわく。その反面、美はかねもうけと結びつき、女性の美の規範が強化されていく世相に改めて気づく・・・

・「女カースト」報告と感想～女の分断？そのとき男は？～・・・女同士が格付けされ分断される、分かり合えない様子を示したことは「女カースト」。

・美と若さに対する「女カースト」・・・『各付けしあう女たち「女子カースト」の実態』白河桃子/著（ポプラ社新書）により、貧困ではない女たちの生きづらさを語り合う。

Newsletter リーブラ

第49号 東海ジェンダー研究所

・共働きと待機児童問題・・・「片働きでは子どもは育てられない」ことがわかった今、赤ちゃんをあやす若いパパが入園選考の説明にききいつている。2015年から始まる新保育制度は低年齢児向け小規模保育施設を量産する体制が組まれている。しかし、重要なことは子どもにとってどういう保育がいいか。園庭のない保育環境、経験をつんだ保育士のいない保育環境では困る・・・云々

・幼稚園と保育所の一元化と無償化への韓国の挑戦・・・幼児教育の一元化が2012年から始まり、パククネ政権は「幼児学校」一元化を発表。もたもたしている日本の幼児・保育制度改革に比べ積極的！

『男女差別賃金をなくす連絡会』ニュース

2013年11月19日

・「女性九条の会」学習会 2014年3月21日（金祝）講師 孫崎 亨氏 会場：武蔵野公会堂会議室

明日来

4号がっこうコミュニティユニオン・あいち（アスク）

・「ロンドン一人旅」・・・大英博物館での日本展示の扱いは、北側の一番奥の部屋。イギリスでの日本の位置づけが見えてくる。ウエストミンスター寺院には、2度の世界大戦の無名戦士の墓があり、さながらイギリスの靖国神社ということになる。

・「リニア」とんでもない。酒と温泉が危ない。

★★★ INFORMATION・情報・じょうほう ★★★

【つながれっと Nagoya】

講座	いまこそ、中部から発信！「働く女性の交流会」
日時	2月21日(金)15:00～18:00
講演講師	松浦信男(万協製薬株式会社代表取締役社長) ・パネリスト 北川尚子(東海東京証券役員)宇都宮優子(JR 東海高島屋取締役) ・コーディネーター 岩田喜美枝(公益財団法人 21世紀職業財団会長)
場所	会場 交流ラウンジ、対象 女性のみ、参加費 500円、託児 有り実費負担
シター	つながれっとシター&交流会『エリン・プロコビッチ』
日時	3月8日(土)13:30～16:30
場所	会場 交流ラウンジ、対象 女性のみ、参加費 500円、託児 有り実費負担
問合せ	つながれっとNAGOYA TEL:052(241)0311, receipt-tsunagalet@sweet.ocn.ne.jp

【ウイルあいち】

講演	Men's専科 ケアメン入門！～女性まかせにできなくなった介護～
日時	平成26年2月9日(日) 10:00～15:00
講師	岡本一美(NPO サポートちた代表理事)現場だから分かる、介護のこんなヒント 田中秀治(小牧市社福協議会)活用しよう、介護制度 下村裕子(NPO りんりん理事長)体に負担のかからない、実践的介護方法 受講料 1,200円 定員 30人 介護に関心のある男性
場所	ウイルあいち 2階 セミナールーム5 託児有り
問合せ	あいち男女共同参画財団 052-962-2512 willkouza@aichi-dks.or.jp

【名古屋YWCA 第40回 天皇制問題を考える2.11集会】

講演	「キムはなぜ裁かれたのか 一朝鮮人戦犯と植民地責任を考える」
講師	内海 愛子(大阪経済法科大学 アジア太平洋研究センター)
日時	2月11日(火)18:00～20:00
場所	名古屋YWCAビッグスペース 参加費:1000円 学生 500円
問合せ	名古屋YWCA TEL:052-961-7707 EM:yyy@nagoya-ywca.or.jp

★大飯原発再稼働反対関電東海支社前抗議行動★毎週金曜日 18時から20時
☆「浜岡原発を廃炉に！」中電本社前アクション☆毎週金曜日 18時から19時
地下鉄高岳 1番出口 参加できる時、参加できる時間帯だけでもOK！

>>脱原発アクション<<

☆☆マコ・ケンの脱ってみる？講演会☆☆

日時:2014年2月11日(火・祝)午後1時30分～午後4時

場所:日進市民会館 小ホール 参加費:大人 700円 子ども(中学生まで)350円

内容:おしどりマコ・ケン ぶっちゃけトーク...汚染水の実態、東電記者会見のウラ話など

主催:次世代の子どもたちの“いのち・くらし・エネルギー”を考える会

申込み&問合せ日進 080-1610-5274(田口) メールアドレス: jisedaik@gmail.com